

2025年度

ニチキッズ新白河保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月23日（金）～2月6日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月24日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」の保育理念のもと様々な経験を通して、子ども達が楽しめる活動を意識して今年度のテーマや保育内容を考えて子ども一人ひとりに丁寧に関わり、保育を行う事を全職員で共有して取り組んだ。
子どもの発達援助	個々の発達や成長段階を理解し一人ひとりに合わせた関りや保育体験が出来るように環境構成を振り返る機会を持った。子ども達が自発的に遊びを選び取り組めるような遊びのコーナーを設ける事ができた。
保護者に対する支援	送迎の際に、その日の子どもの様子や体調等を丁寧に伝え、関わりを大切に心掛けた。子どもの成長を共に喜び、悩みに寄り添い共感する事で信頼関係を育んだ。また保育参加を年2回行い、日々の保育や子ども達の様子を直接見て頂き保育者や保護者同士の交流を図れるように取り組んだ。
保育を支える組織的基盤	定期的に保育業務の理解度チェックやマニュアルの読み合わせを行い、子ども達が安心安全に過ごせる環境作りに務めた。外部・内部研修に参加しスキルアップに努めた。また、職員会議・15MT・朝礼を実施して全職員への共有事項を確認し合う事ができた。

総評
保育理念・保育目標を理解した上で、今年度も子ども一人ひとりの発達を汲み取りながら保育計画を立て、日々の保育に取り組むことができた。定期的に「子どもの最善の利益」を考えた保育について研修や話し合う機会を設け、一人ひとりに寄り添う保育を大切にしてきた。年間を通して食育活動にも力を入れ、4月の「土入れ」から始まり子ども達が楽しんでお世話ができるように計画した。夏野菜が豊作でピザ作りや日々の給食に取り入れた。今年は伝統行事や郷土料理「こづゆ」を提供するなど地域色を取り入れ、子ども達が食に興味関心が持てるような活動を実施した。次年度も職員間で同じ目的意識を持ち、チームワークを大切にしながら温かく寄り添う保育を行っていききたい。